



広場の利用は自由ですが、体操や絵本の読み聞かせなど、みんなで楽しむプログラムも取り入れています

浦添市は、二〇〇六年から子育て支援拠点として「つどいの広場」の設置事業を推進してきました。「子どもは地域で育てよう。子どもだけではなく、育児をしている母親も支援しよう」ということから、この事業はスタートしました。市内に三つの拠点づくりを目指し、今年一月に目標を達成したところだ」と保育課の崎枝朝子さん。

浦添市 「つどいの広場」を拠点に子育て支援。地域で子どもを育てる

同広場は、基本的に〇歳から三歳の子どもを持つ親子を対象とし、月・水・金の十時から十五時の間、親子で利用できます。各広場には二人ずつ、子育てアドバイザーを設置し、子育て支援に関する講座も開いています。アドバイザーの採用にあたっては、休職中の保育士などに呼びかけ、地域の人材の掘り起こしも狙いました。

西原児童センター内にある、つどいの広場「にこにこ」のアドバイザー、高江洲玲子さんは「私たちがアドバイザー



つどいの広場「にこにこ」の利用者の皆さん



アドバイザー 高江洲玲子さん 保育課 崎枝朝子さん アドバイザー 平安千恵子さん

浦添市役所 福祉保健部 保育課
TEL.098-876-1234(内線3628)

するということよりも、親同士の交流を通して自然に悩みを解決したり、情報を交換しあったりしているようです」と話します。アドバイザーと母親たちに見守られ、楽しそうに遊ぶ子どもたち。広場に通過することで地域の方とも顔なじみになり、声をかけてもらう機会も増えています。

崎枝さんは、「利用者に、周りに引きこもりがちの親子がいたら声をかけようようにお願いしています。また、各自治会や施設との協働を進め、催しものを共に行うなど、広場内の活動に止めず、地域とのつながりを深めていきたいですね」と、今後の取り組みに意欲を見せています。

沖縄県広報誌 平成20年7月1日発行第32巻7号通巻394

美ら島沖縄

企画・編集・発行 沖縄県知事公室広報課
〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2
TEL.098-866-2020

■表紙 写真・文：今泉 真也

夏のはじまり。空が青く澄んでくる。アスファルトの暑い街を抜け出した日曜日、こどもは本来の居場所を見つけた。海には豊かさがつまっています。

■P12-P13 季節情報提供
(財)沖縄観光コンベンションビューロー

前月号でお伝えしたナイトウォーキング。普段、三日坊主で飽きっぽい典型的なB型人間の私ですが、1ヶ月経った今でもちゃんと続けていることに周囲はもとより本人が一番ビックリしています。

「継続は力なり」をモットーにこれからもずっとウォーキングを頑張っていこうと思いつきながら、楽しみ半分、義務半分、そして仕事を計ってみたい。なぜか以前よりも体重が増えました。なんでやねん！(TAKO)



いよいよ夏本番です！これからとても暑い季節になりますが、皆さん、夏バテせずにがんばっていきましょう。

今月は娘を連れて、初めての海デビューをしたと考えています。子どもの初めてを出来る限り一緒に体験していこうと意気込んでいます！(フアウ)

今月号でお伝えしたナイトウォーキング。普段、三日坊主で飽きっぽい典型的なB型人間の私ですが、1ヶ月経った今でもちゃんと続けていることに周囲はもとより本人が一番ビックリしています。



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中！

わしたしまの情熱キーパーソン



行政の人たちと地域みんなが一緒になって動けば、地域はより快適に、もっとハッピーに。このコーナーでは、そんな地域づくりに取り組む地域住民と行政担当者の「協働」について紹介していきます。



地域リーダーの皆さん。定期的に講習会を開き、スキルアップを目指すとともに交流を深めています

西崎運動公園内にある糸満市高齢者健康づくりセンター・願寿館では、平日の午前中にストレッチを主とした運動教室を開催しています。

同館館長代理の神谷良昌さんは「この事業は今年で六年目。正しい運動法を指導し、自分たちで健康管理ができるようにしていくこと。さらに参加者の中から地域リーダーを育成し、それぞれの地域で指導してもらうことによって、その効果を広めていくことが狙いです」と話します。

糸満市 運動教室の参加者から地域リーダーを育成。協働で市民の健康促進に努める

主任運動指導員の小幡美和さんは、「初年度から基本プログラムは変えていません。同じものを繰り返すことで、しっかりと覚えてもらう。一周年記念の交流会で、地域に広げていくためのボランティアを募集したところ、多くの方々が手を上げてくれました」と、当時は振り返ります。現在、地域リーダーの数は二十七名。地域の公民館や老人クラブなどを拠点に、実施回数や時間帯など、それぞれに無理のないかたちで活動を続けています。

地域リーダーに認定されると、万が一の場合に備え、ボランティア保険に登録。また、スキルアップを目指し定期的に講習会を開催したり、要請があれば願寿館専属の運動指導員が直接現場に出向き補助するなど、行政側の



浜元澄江さんが地域リーダーを務める町端がんじゅう会では、地域の女性が集まってリフレッシュタイム

バックアップ体制も万全です。

浜元澄江さんは、自らの体調改善のために願寿館に通い始め、二年ほど前から町端地区で地域リーダーとして指導にあたっています。「喜んでもらえる嬉しくて。精神的にも充実しています」と浜元さん。当初、五、六名だった参加者も三十名ほどに増え、地区住民の交流の場としての役割も果たすようになりました。

健康づくりを目標にスタートとした行政と市民の「協働」のかたちは、地域に根付き、さらなる広がりを期待させます。



館長代理 神谷良昌さん 運動指導補助員 浅野久雄さん 主任運動指導員 小幡美和さん 運動指導補助員 新城桃江さん 看護士 上原由企枝さん

糸満市役所 福祉保健部 地域包括支援課
糸満市高齢者健康づくりセンター・「願寿館」
TEL.098-840-8225 FAX 098-840-8330



沖縄県産業・雇用拡大県民運動実施中！